

イメージシンボル

南三陸町のイメージシンボル（町花・町木・町鳥・町魚・イメージカラー）は、今年2月1日から2月28日まで間に町内在住の方を対象に募集を行い、594人からの応募がありました。この結果をもとに町章等選定委員会で選考した結果、次のとおり決定しました。選考理由とあわせて発表します。



■町花

●ツツジ

かざり気なく素朴に咲き誇るツツジは、いたるところに自生し、みんなに親しまれています。当町では、特に田東山のツツジが華やかで、毎年5月に開催される「田東山つつじまつり」には多くの行楽客が訪れます。



■町木

●タブノキ

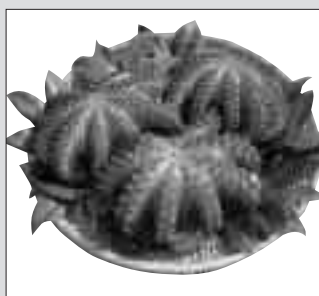
暖かい地方の海沿いに多い常緑の高木で、当町の海岸部のいたるところに自生しています。特に湾内に浮かぶ椿島は群生の北限地として植物学上極めて価値が高く、椿島暖地性植物群落として国の天然記念物に指定されています。



■町鳥

●イヌワシ

国の天然記念物に指定されている絶滅危惧種ですが、当町の豊かな自然環境の中で生息している希少な鳥です。



■海の生物

※町魚から変更

●マダコ

志津川湾の住人で、当町自慢の物産品。さまざまなイベント・交流などでの展開が期待できる、産業の活性化を象徴するユニークなシンボルです。

■イメージカラー

●スカイブルー

発展、希望、爽やかさ、やすらぎ、そして南三陸の空と海を象徴しています。

問い合わせ

企画課 企画政策係
☎ 46-1371